２０２４．１０．２５

医療職に興味のある高校生を対象に「医療職進路選択セミナー」が令和６年10月11日（金）に当院主催で行われました。

セミナーには計65名の高校生が参加し、各医療従事者が業務内容の説明と、希望部署にて見学・体験をし、医療職について知ってもらう機会を提供しました。

医療職の現場 肌で

総合花巻病院 高校生進路セミナー

高校生を対象とした医療職進路選択セミナーは11日、花巻市御田屋町の総合花巻病院で開かれた。同病院の医療従事者による業務説明や職場体験などを通じ、生徒が医療に関わる仕事や設備などに理解を深めた。

花巻、北上両市、西和賀町などから医療職に関心のある1、2年生65人が参加。業務内容の説明では、医師、薬局、臨床検査部、放射線技術部、栄養部、リハビリテーション部、医療ソーシャルワーカー、看護部の各職員が仕事に就くきっかけや受験資格、仕事のやりがいなどを語った。

このうち佐藤正俊院長は、医師の業務についてさまざまな疾患の診断と治療に携わる仕事とした上で、救急医療や過疎地医療、医療崩壊、AIの導入について医療ドラマを例に挙げて紹介。「英語を習得することが今後に役立つ。医療は進歩しているが、医療従事者の偏在が課題となっている」などと説明した。

生徒は希望する部署に分かれ、相談やリハビリといった業務を見学、体験。看護師を目指しているという専大北上高2年の三田結愛さんは「看護師の一日のスケジュールや患者さんへの対応などを実際に聞き、参考になった。病院内では、それぞれの連携が大切だと感じた」と話していた。

同セミナーは医療の仕事を知ってもらい、人材確保や育成につなげるのが狙い。以前は中部保健所と共催だったが新型コロナウイルスの影響で中止が続き、今回は同病院の主催事業として4年ぶりに開催した。

理学療法士の業務を見学する高校生

令和6年10月16日発行の「岩手日日新聞」に掲載されました